

調査結果の概要

学校調査

1 小学校

(1) 学校数 [表1、統計表1・22]

ア 学校数は834校で、前年度より11校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.4%)、公立822校(同98.6%)、私立9校(同1.1%)である。

(2) 学級数 [表1、統計表9・22]

ア 学級数は12,232学級で、前年度より210学級(1.7%)増加している。

イ 設置者別では、国立51学級(構成比0.4%)、公立12,079学級(同98.7%)、私立102学級(同0.8%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級10,865学級(構成比88.8%)、複式学級90学級(同0.7%)、75条の学級1,277学級(同10.4%)である。

表1 小学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学校数				学級数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成14年度	860	3	848	9	11,695	10,500	89	1,106
15	857	3	845	9	11,737	10,483	96	1,158
16	851	3	839	9	11,962	10,667	93	1,202
17	845	3	833	9	12,022	10,695	87	1,240
18	834	3	822	9	12,232	10,865	90	1,277

(3) 児童数 [表2、図1、統計表11・22]

ア 児童数は328,422人で、前年度より1,902人(0.6%)増加している。

昭和56年度の536,442人をピークに連続して減少していたが、平成16年度に23年ぶりの増加に転じ、本年度も引き続き増加している。

イ 設置者別では、国立1,655人(構成比0.5%)、公立323,236人(同98.4%)、私立3,531人(同1.1%)である。

ウ 男女別では、男167,778人(構成比51.1%)、女160,644人(同48.9%)である。

エ 1学級当たりの児童数は26.8人(全国値25.9人)で、前年度より0.4人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの児童数は18.1人(全国値17.2人)で、前年度より0.1人減少している。

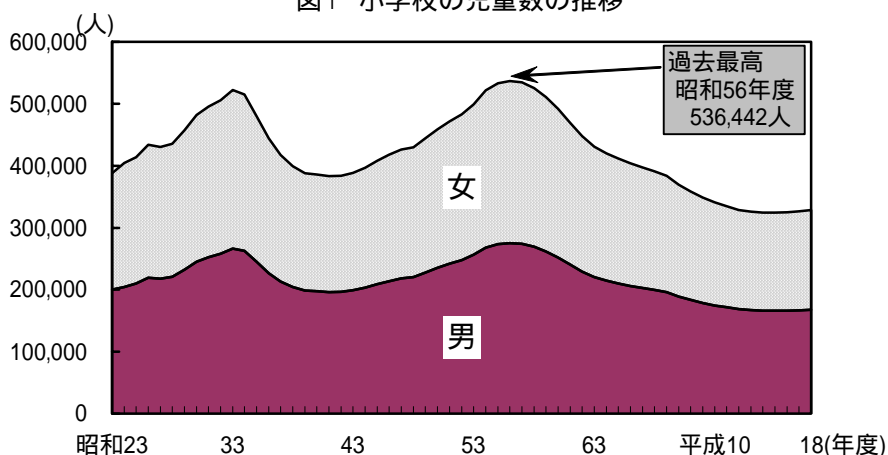
表2 小学校の児童数 (人)

区分	児童数			1学級当たりの児童数		教員(本務者)1人当たりの児童数	
	男	女		全国値		全国値	
平成14年度	324,517	166,254	158,263	27.7	26.7	18.7	17.6
15	324,482	166,198	158,284	27.6	26.5	18.5	17.5
16	324,849	166,262	158,587	27.2	26.3	18.3	17.4
17	326,520	166,891	159,629	27.2	26.1	18.2	17.3
18	328,422	167,778	160,644	26.8	25.9	18.1	17.2

(注)1 「1学級当たりの児童数」とは、児童数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの児童数」とは、児童数計を教員数(本務者)で割った数値である。

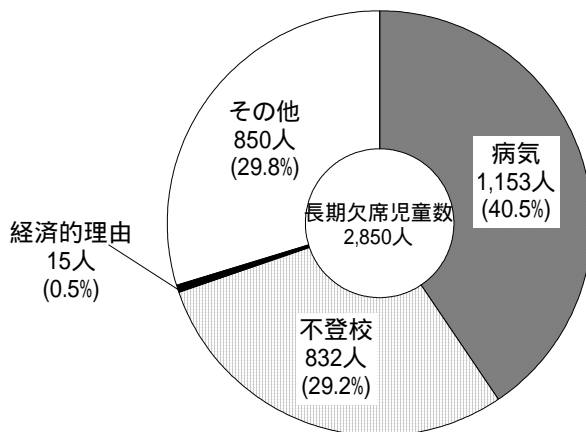
図1 小学校の児童数の推移



(4) 長期欠席児童数 [図2、統計表15・22]

- ア 平成17年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した児童は2,850人で、前年度より106人(3.9%)増加している。これは全児童の0.9%(前年度より0.1ポイント上昇)に当たる。
- イ 理由別の内訳では、病気1,153人(構成比40.5%)、経済的理由15人(同0.5%)、不登校832人(同29.2%)、その他850人(同29.8%)である。

図2 小学校の理由別長期欠席児童数



(5) 教員数(本務者) [表3、統計表18・22]

- ア 教員数(本務者)は18,111人で、前年度より172人(1.0%)増加している。
- イ 男女別では、男6,688人(構成比36.9%)、女11,423人(同63.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度と同率である。

表3 小学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成14年度	17,388	11,027
15	17,522	11,072
16	17,728	11,199
17	17,939	11,311
18	18,111	11,423

2 中学校

(1) 学校数 [表4、統計表1・23]

ア 学校数は400校で、前年度より、1校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.8%)、公立356校(同89.0%)、私立41校(同10.3%)である。

(2) 学級数 [表4、統計表9・23]

ア 学級数は5,024学級で、前年度より17学級(0.3%)減少している。

イ 設置者別では、国立30学級(構成比0.6%)、公立4,639学級(同92.3%)、私立355学級(同7.1%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級4,508学級(構成比89.7%)、75条の学級516学級(同10.3%)である。

表4 中学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数				学 級 数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成14年度	405	3	363	39	5,240	4,809	-	431
15	405	3	363	39	5,148	4,694	-	454
16	405	3	361	41	5,075	4,605	-	470
17	401	3	357	41	5,041	4,547	-	494
18	400	3	356	41	5,024	4,508	-	516

(3) 生徒数 [表5、図3、統計表11・23]

ア 生徒数は159,530人で、前年度より1,668人(1.0%)減少し、昭和62年度以降(昭和61年度の生徒数273,732人)20年連続して減少しており、過去最低となっている。

イ 設置者別では、国立1,028人(構成比0.6%)、公立145,091人(同90.9%)、私立13,411人(同8.4%)である。

ウ 男女別では、男81,439人(構成比51.0%)、女78,091人(同49.0%)である。

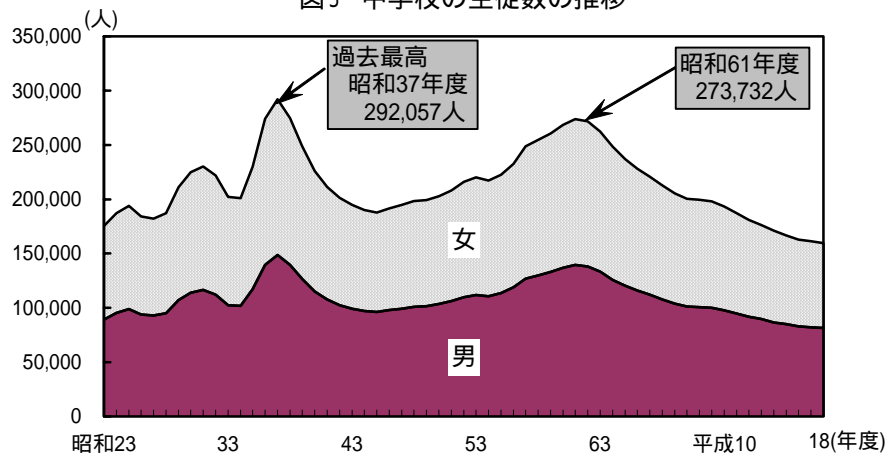
エ 1学級当たりの生徒数は31.8人(全国値30.4人)で、前年度より0.2人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.1人(全国値14.5人)で、前年度と同数である。

表5 中学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数			1学級当たり の生徒数		教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女		全国値	全国値	全国値	
平成14年度	170,952	87,302	83,650	32.6	31.7	15.8	15.2
15	166,624	85,065	81,559	32.4	31.3	15.6	14.9
16	162,779	83,012	79,767	32.1	31.0	15.3	14.7
17	161,198	82,135	79,063	32.0	30.7	15.1	14.6
18	159,530	81,439	78,091	31.8	30.4	15.1	14.5

図3 中学校の生徒数の推移

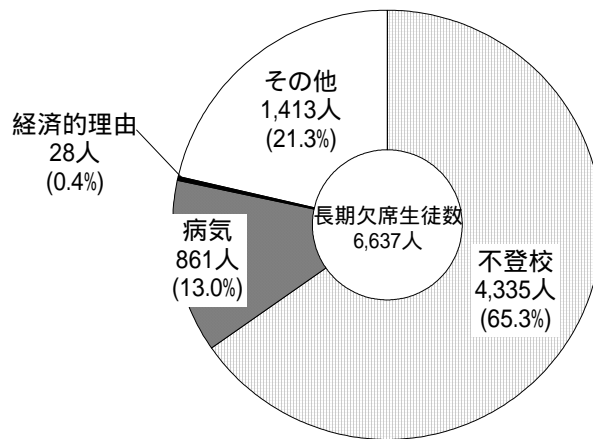


(4) 長期欠席生徒数 [図4、統計表15・23]

ア 平成17年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した生徒は6,637人で、前年度より32人(0.5%)減少している。これは、全生徒の4.1%(前年度と同じ)に当たる。

イ 理由別の内訳では、病気861人(構成比13.0%)、経済的理由28人(同0.4%)、不登校4,335人(同65.3%)、その他1,413人(同21.3%)である。

図4 中学校の理由別長期欠席生徒数



(5) 教員数(本務者) [表6、統計表18・23]

ア 教員数(本務者)は10,575人で、前年度より74人減少している。

イ 男女別では、男6,543人(構成比61.9%)、女4,032人(同38.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.1ポイント上昇している。

表6 中学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成14年度	10,822	4,077
15	10,711	4,056
16	10,645	4,012
17	10,649	4,043
18	10,575	4,032

3 高等学校

(1) 学校数 [表7、統計表1・4・24]

ア 学校数は222校で、前年度より2校減少している。

イ 設置者別では、公立170校(構成比76.6%)、私立52校(同23.4%)である。

ウ 課程別では、全日制独立校193校(構成比86.9%)、定時制独立校18校(同8.1%)、全日制・定時制併置校11校(同5.0%)である。

(2) 学級数 [表7、統計表9・24]

学級数(教科外活動としてホームルーム活動を行うために編成されている公立学校本科の学級数)は2,974学級で、前年度より83学級(2.7%)減少している。

表7 高等学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数						学級数
	設置者別		課程別				
	公立	私立	全日制	定時制	併置		
平成14年度	230	178	52	197	22	11	3,368
15	232	180	52	198	22	12	3,256
16	231	179	52	199	20	12	3,162
17	224	172	52	194	18	12	3,057
18	222	170	52	193	18	11	2,974

(3) 生徒数 [表8、図5・6、統計表11・12・24]

ア 生徒数は149,907人で、前年度より4,302人(2.8%)減少し、平成元年度の245,779人をピークに17年連続して減少している。

イ 設置者別では、公立112,070人(構成比74.8%)、私立37,837人(同25.2%)である。

ウ 男女別では、男74,634人(構成比49.8%)、女75,273人(同50.2%)である。

エ 本科の生徒数は149,757人で、課程別にみると全日制143,500人(構成比95.8%)、定時制6,257人(同4.2%)である。

専攻科の生徒は150人である。

オ 本科の学科別生徒数をみると、普通科115,135人(構成比76.9%)、工業科11,145人(同7.4%)、商業科7,911人(同5.3%)、総合学科6,928人(同4.6%)の順となっている。

カ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.2人(全国値14.1人)で、前年度より0.3人減少している。

表8 高等学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数								教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女	本 科	専攻科	別科	本 科		全国値		
						全日制	定時制			
平成14年度	168,290	82,470	85,820	168,101	161,714	6,387	161	28	15.2	15.0
15	163,153	80,425	82,728	162,971	156,556	6,415	155	27	14.9	14.7
16	159,320	79,021	80,299	159,161	152,641	6,520	159	-	14.7	14.5
17	154,209	76,741	77,468	154,067	147,644	6,423	142	-	14.5	14.3
18	149,907	74,634	75,273	149,757	143,500	6,257	150	-	14.2	14.1

図5 高等学校の生徒数の推移

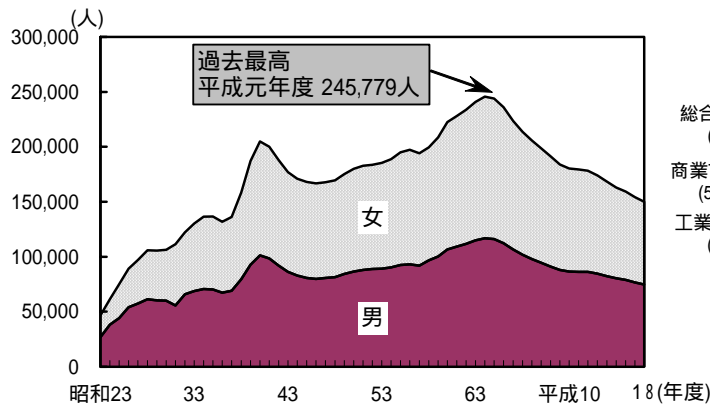
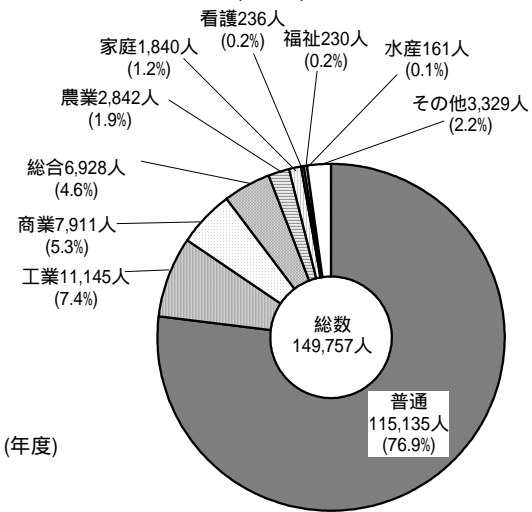


図6 高等学校(本科)の学科別生徒数



(4) 入学状況(本科) [表9、統計表16]

ア 入学志願者は83,865人で、前年度より1,853人(2.2%)減少している。

イ 入学者数は49,738人で、前年度より868人(1.7%)減少している。

男女別では、男24,726人(構成比49.7%)、女25,012人(同50.3%)である。

ウ 入学者のうち他府県所在の中学校卒業者は542人(構成比1.1%)、過年度中学校卒業者は425人(同0.9%)である。

表9 高等学校(本科)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数		a		入学者数		b		入学率		b / a × 100
	男	女	男	女	男	女	男	女			
計	83,865	40,818	43,047	49,738	24,726	25,012	59.3	60.6	58.1		
公立	45,489	22,746	22,743	36,864	18,167	18,697	81.0	79.9	82.2		
私立	38,376	18,072	20,304	12,874	6,559	6,315	33.5	36.3	31.1		
全日計	81,422	39,233	42,189	47,757	23,445	24,312	58.7	59.8	57.6		
公立	43,046	21,161	21,885	34,883	16,886	17,997	81.0	79.8	82.2		
私立	38,376	18,072	20,304	12,874	6,559	6,315	33.5	36.3	31.1		
定時計	2,443	1,585	858	1,981	1,281	700	81.1	80.8	81.6		
公立	2,443	1,585	858	1,981	1,281	700	81.1	80.8	81.6		
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

同一人が2以上の学校に入学志願した場合は、それぞれの学校の入学志願者として計上されるので入学志願者数は延数である。

(5) 教員数(本務者) [表10、統計表18・24]

ア 教員数(本務者)は10,566人で、前年度より96人(0.9%)減少している。

イ 男女別では、男7,779人(構成比73.6%)、女2,787人(同26.4%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.1ポイント低下している。

表10 高等学校の教員数(本務者)

(人)

区分	教員数(本務者)			
	男	女		
平成14年度	11,044	8,248	2,796	
15	10,919	8,105	2,814	
16	10,854	7,979	2,875	
17	10,662	7,836	2,826	
18	10,566	7,779	2,787	

(6) 通信制 [統計表1・11・18・25]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 生徒数は2,555人(男1,162人、女1,393人)で、前年度より53人(2.0%)減少している。

ウ 教員数(本務者)は51人(男40人、女11人)で、前年度より1人(2.0%)増加している。

4 中等教育学校 [表 11、統計表 1・9・11・18・26]

(1) 学校数

学校数は1校(公立1校)で、前年度と同数である。

(2) 学級数

学級数は8学級(前期課程6学級、後期課程2学級)で、前年度より2学級増加している。

(3) 生徒数

生徒数は298人(男86人、女212人)で、前年度より66人(28.4%)増加している。

(4) 教員数(本務者)

教員数(本務者)は30人(男16人、女14人)で、前年度より7人(30.4%)増加している。

表11 中等教育学校の学校数、学級数、生徒数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	前期課程				後期課程				教員数 (本務者)
		学級数	生徒数		学級数	生徒数				
			男	女		男	女			
平成14年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	1	2	80	33	47	-	-	-	12	
16	1	4	157	57	100	-	-	-	18	
17	1	6	232	71	161	-	-	-	23	
18	1	6	232	61	171	2	66	25	41	30

中等教育学校とは、平成10年の学校教育法の改正により創設された学校制度で、本県では平成15年度より設置されている。

5 盲・聾・養護学校

(1) 盲学校 [表 12、統計表 1・9・11・18・27]

ア 学校数

学校数は3校(県立2校、市立1校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は44学級で、前年度より4学級減少している。

ウ 在学者数

在学者数は97人(男71人、女26人)で、前年度より13人(11.8%)減少している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は115人で、前年度より7人(5.7%)減少している。男女別では、男69人(構成比60.0%)、女46人(同40.0%)で、女性教員の占める比率は、前年度より2.6ポイント低下している。

表12 盲学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成14年度	3	51	128	6	21	19	82	1.03	1.14	124
15	3	52	120	3	18	18	81	0.95	1.14	126
16	3	48	109	3	21	11	74	0.87	1.14	125
17	3	48	110	4	19	18	69	0.90	1.13	122
18	3	44	97	4	15	16	62	0.84	1.11	115

(2) 聾学校 [表13、統計表1・9・11・18・28]

ア 学校数

学校数は5校(県立5校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は66学級で、前年度と同数である。

ウ 在学者数

在学者数は234人(男131人、女103人)で、前年度より7人(3.1%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は182人で、前年度より7人(4.0%)増加している。男女別では、男72人(構成比39.6%)、女110人(同60.4%)で、女性教員の占める比率は、前年度より4.4ポイント上昇している。

表13 聾学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

(校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成14年度	5	64	230	70	56	42	62	1.31	1.37	175
15	5	61	219	62	56	45	56	1.27	1.36	173
16	5	64	219	60	62	40	57	1.28	1.33	171
17	5	66	227	55	71	40	61	1.30	1.33	175
18	5	66	234	56	59	60	59	1.29	1.33	182

(3) 養護学校 [表14、統計表1・9・11・18・29]

ア 学校数

学校数は34校(国立1校、県立16校、市立17校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は959学級で、前年度より14学級増加(1.5%)している。

ウ 在学者数

在学者数は3,434人(男2,271人、女1,163人)で、前年度より112人(3.4%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は2,273人で、前年度より37人(1.7%)増加している。男女別では、男1,101人(構成比48.4%)、女1,172人(同51.6%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.9ポイント低下している。

表14 養護学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

(校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成14年度	33	902	3,050	15	750	698	1,587	1.46	1.62	2,095
15	33	919	3,158	20	762	679	1,697	1.48	1.63	2,135
16	33	918	3,223	16	769	725	1,713	1.49	1.64	2,167
17	34	945	3,322	10	795	732	1,785	1.49	1.65	2,236
18	34	959	3,434	14	826	773	1,821	1.51	1.66	2,273

6 幼稚園

(1) 学校数 [表15、統計表1・30]

ア 学校数は762園で、前年度より4園減少している。

イ 設置者別では、国立2園(構成比0.3%)、公立516園(同67.7%)、私立244園(同32.0%)である。

表15 幼稚園の学校数及び学級数

(園、学級)

区分	学校数			学級数	
	国立	公立	私立		
平成14年度	789	2	539	248	3,130
15	781	2	532	247	3,152
16	776	2	529	245	3,138
17	766	2	519	245	3,124
18	762	2	516	244	3,117

(2) 学級数 [表15、統計表9・30]

ア 学級数は3,117学級で、前年度より7学級(0.2%)減少している。

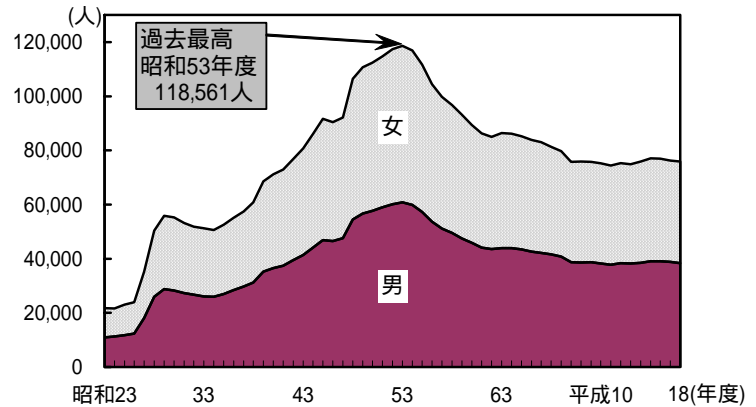
イ 設置者別では、国立11学級(構成比0.4%)、公立1,331学級(同42.7%)、私立1,775学級(同56.9%)である。

(3) 在園者数 [表16、図7、統計表11・30]

ア 在園者数は75,878人(男38,297人、女37,581人)で、前年度より381人(0.5%)減少している。

イ 年齢別では、3歳児11,925人、4歳児28,727人、5歳児35,226人で、前年度より3歳児は457人増加し、4歳児は271人、5歳児で567人それぞれ減少している。

図7 幼稚園の在園者数の推移



(4) 修了者数 [表16、統計表30]

ア 修了者数は35,955人で、前年度より939人(2.5%)減少している。

イ 就園率(本年度の小学校第1学年の児童数に占める本年3月の幼稚園修了者の比率)は65.8%で、前年度より0.8ポイント低下している。

表16 幼稚園の在園者数及び修了者数

(人、%)

区分	在園者数					教員(本務者)1人当たりの在園者数		修了者数	就園率		
	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	全国値	全国値		全国値		
平成14年度	75,933	38,511	37,422	10,178	28,705	37,050	16.5	16.4	36,876	68.9	59.9
15	77,033	39,025	38,008	10,764	29,227	37,042	16.5	16.2	37,117	68.3	59.3
16	76,908	39,025	37,883	11,113	28,955	36,840	16.3	16.0	37,054	67.6	58.9
17	76,259	38,796	37,463	11,468	28,998	35,793	16.0	15.7	36,894	66.6	58.4
18	75,878	38,297	37,581	11,925	28,727	35,226	15.8	15.6	35,955	65.8	57.7

(5) 教員数(本務者) [表17、統計表18・30]

ア 教員数(本務者)は4,795人で、前年度より38人(0.8%)増加している。

イ 男女別では、男195人(構成比4.1%)、女4,600人(同95.9%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.2ポイント低下している。

表17 幼稚園の教員数(本務者)

(人)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成14年度	4,601	158	4,443
15	4,671	162	4,509
16	4,716	163	4,553
17	4,757	184	4,573
18	4,795	195	4,600

7 専修学校

(1) 学校数 [表18、統計表1・31]

学校数は105校(国立1校、公立10校、私立94校)で、前年度より3校増加している。

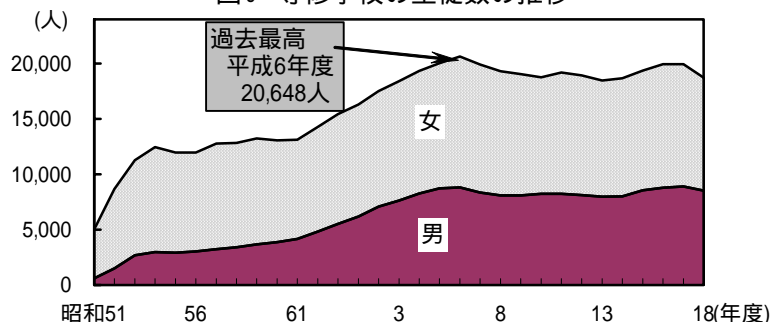
(2) 生徒数 [表18、図8、10、統計表7・31]

生徒数は18,723人(男8,516人、女10,207人)で、前年度より1,226人減少している。

表18 専修学校の学校数及び生徒数 (校、人)

区分	学校数				生徒数					
	国立	公立	私立		男	女	高等課程	専門課程	一般課程	
平成14年度	100	3	10	87	18,678	7,997	10,681	2,691	15,987	-
15	100	3	9	88	19,360	8,573	10,787	2,491	16,869	-
16	99	1	9	89	19,942	8,796	11,146	2,276	17,666	-
17	102	1	10	91	19,949	8,904	11,045	2,017	17,932	-
18	105	1	10	94	18,723	8,516	10,207	1,778	16,945	-

図8 専修学校の生徒数の推移



(3) 教員数(本務者) [表19、統計表31]

ア 教員数(本務者)は1,235人で、前年度より21人(1.7%)減少している。

イ 男女別では、男578人(構成比46.8%)、女657人(同53.2%)で、女性教員の占める比率は前年度より、0.7ポイント低下している。

表19 専修学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)		
		男	女
平成14年度	1,203	521	682
15	1,265	548	717
16	1,242	555	687
17	1,256	579	677
18	1,235	578	657

図9 専修学校の学科数

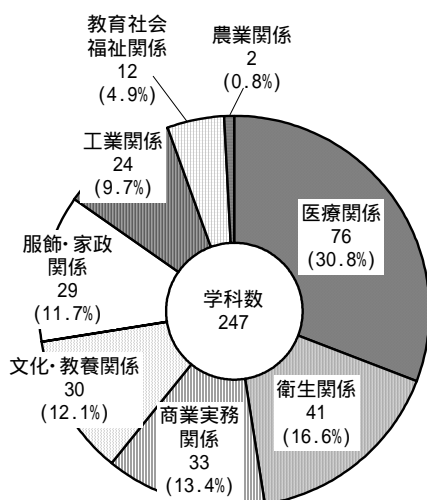
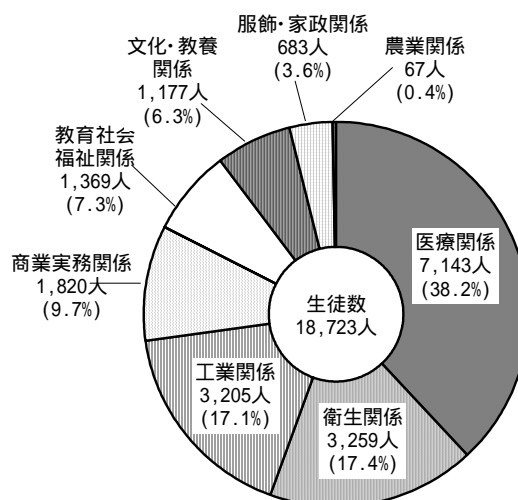


図10 専修学校の学科別生徒



8 各種学校

(1) 学校数 [表20、統計表1・32]

学校数は97校(私立97校)で、前年度より4校減少している。

(2) 生徒数 [表20、図11、13、統計表8・32]

生徒数は9,912人(男4,979人、女4,933人)で、前年度より155人(1.5%)減少している。

(3) 教員数(本務者) [表20、統計表32]

ア 教員数(本務者)は595人で、前年度より4人(0.7%)減少している。

イ 男女別では、男336人(構成比56.5%)、女259人(同43.5%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.2ポイント低下している。

表20 各種学校の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生徒数		教員数(本務者)			
		男	女	男	女	合計	
平成14年度	125	11,072	5,297	5,775	642	354	288
15	109	10,385	5,039	5,346	629	348	281
16	104	10,181	4,983	5,198	627	355	272
17	101	10,067	4,907	5,160	599	337	262
18	97	9,912	4,979	4,933	595	336	259

図11 各種学校の生徒数の推移

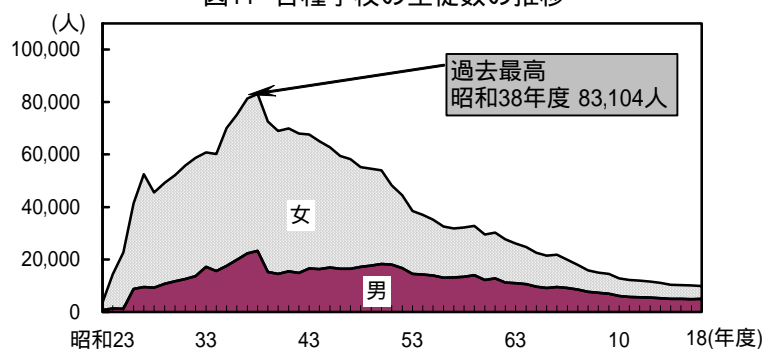


図12 各種学校の課程数

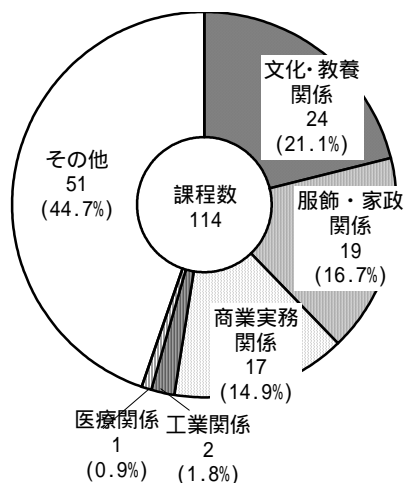
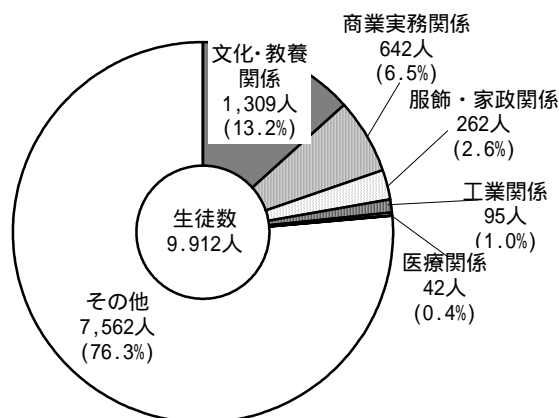


図13 各種学校の課程別生徒数



9 大 学

(1) 学 校 数 [表21、統計表41・44]

- ア 学校数は39校で、前年度より、私立が1校増加している。
- イ 設置者別では、国立2校、公立6校、私立31校である。

(2) 学 生 数 [表21、統計表43・44]

- ア 学生数は122,134人(学部108,090人、大学院9,944人、専攻科・別科等4,100人)で、前年度より1,109人(0.9%)減少している。
- イ 設置者別では、国立19,423人(構成比15.9%)、公立9,440人(同7.7%)、私立93,271人(同76.4%)で、前年度より国立は336人減少、公立は61人増加、私立は834人減少している。
- ウ 男女別では、男60,709人(構成比49.7%)で前年度より761人減少、女61,425人(同50.3%)で348人減少している。

(3) 教 員 数(本務者) [表21、統計表44]

教員数(本務者)は5,890人で、前年度より260人(4.6%)増加している。

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)
		男	女	うち学部	うち大学院		
平成14年度	36	119,669	59,388	60,281	108,188	8,459	5,364
15	36	121,066	59,711	61,355	109,359	8,648	5,389
16	36	120,837	59,349	61,488	108,911	9,085	5,526
17	38	123,243	61,470	61,773	108,687	9,598	5,630
18	39	122,134	60,709	61,425	108,090	9,944	5,890

(4) 学部学生及び大学院学生 [表22、統計表45・48]

- ア 学部学生は108,090人(男52,188人、女55,902人)で、前年度より597人(0.5%)減少している。
関係分野別にみると、「社会科学関係」40,440人(構成比37.4%)が最も多く、次いで「人文科学関係」28,866人(同26.7%)、「保健関係」7,719人(同7.1%)の順となっている。
昼夜別では、昼間107,095人(構成比99.1%)、夜間995人(同0.9%)である。
- イ 大学院学生は9,944人で、前年度より346人(3.6%)増加している。
課程別にみると、修士課程5,971人(男3,566人、女2,405人)、博士課程2,685人(男1,280人、女615人)、専門職学位課程1288人(男944人、女344人)である。
関係分野別では、「社会科学関係」2,457人(構成比24.7%)が最も多く、次いで「保健関係」1,144人(同11.5%)、「人文科学関係」1,027人(同10.3%)の順となっている。

表22 大学の関係分野別学生数

(人、%)

区分	学 部				大 学 院			
		男	女	構成比		男	女	構成比
計	108,090	52,188	55,902	100.0	9,944	6,207	3,737	100.0
人文科学関係	28,866	6,719	22,147	26.7	1,027	385	642	10.3
社会科学関係	40,440	28,539	11,901	37.4	2,457	1,732	725	24.7
理 学 関 係	1,529	1,114	415	1.4	327	244	83	3.3
工 学 関 係	4,711	4,015	696	4.4	443	405	38	4.5
農 学 関 係	727	411	316	0.7	-	-	-	-
保 健 関 係	7,719	2,296	5,423	7.1	1,144	589	555	11.5
商 船 関 係	943	860	83	0.9	-	-	-	-
家 政 関 係	4,381	43	4,338	4.1	68	2	66	0.7
教 育 関 係	2,586	799	1,787	2.4	954	498	456	9.6
芸 術 関 係	3,236	1,472	1,764	3.0	61	26	35	0.6
そ の 他	12,952	5,920	7,032	12.0	3,463	2,326	1,137	34.8

(5) 学部学生の入学状況 [表23、統計表46・47]

ア 大学学部への入学志願者数は162,375人で、前年度より9,975人(6.5%)増加している。

男女別では、男80,482人(構成比49.6%)で前年度より6623人、女81,893人(同50.4%)で3,352人増加している。

イ 入学者数は26,405人で、前年度より210人(0.8%)増加している。

男女別では、男12,395人(構成比46.9%)で前年度より437人減少、女14,010人(同53.1%)で647人増加している。

卒業年次別にみると、平成18年3月(新規)高等学校卒業者が22,435人(構成比85.0%)と最も多く、平成17年3月高等学校卒業者2,702人(同10.2%)、平成16年3月以前高等学校卒業者351人(同1.3%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より1.9ポイント上昇している。

入学者のうち12,554人(男5,745人、女6,809人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は47.5%で前年度より0.3ポイント上昇している。

表23 大学(学部)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業者数		うち新規高校 卒業者数	うち県内高校 出身者数
計	162,375	128,013	26,405	22,435 (85.0)	12,554 (47.5)
男	80,482	57,717	12,395	9,944 (80.2)	5,745 (46.3)
女	81,893	70,296	14,010	12,491 (89.2)	6,809 (48.6)

()は構成比

10 短期大学

(1) 学校数 [表24、統計表49・51]

- ア 学校数は23校で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、公立1校、私立22校である。

(2) 学生数 [表24、統計表51]

- ア 学生数は10,876人(本科10,573人、専攻科205人、その他98人)で、前年度より973人(8.2%)減少している。
- イ 男女別では、男1,139人(構成比10.5%)で前年度より184人減少、女9,737人(同89.5%)で789人減少している。

(3) 教員数(本務者) [表24、統計表51]

教員数(本務者)は630人で、前年度より29人(4.4%)減少している。

表24 短期大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数			教員数 (本務者)
		男	女	うち本科	
平成14年度	24	13,600	1,108	12,492	688
15	23	13,032	1,223	11,809	670
16	23	12,682	1,337	11,345	670
17	23	11,849	1,323	10,526	659
18	23	10,876	1,139	9,737	630

表25 短期大学の関係分野別本科学生数 (人、%)

(4) 本科学生数 [表25、統計表52]

- ア 本科学生数は10,573人(男1,083人、女9,490人)で、前年度より999人(8.6%)減少している。
- イ 関係分野別にみると、「教育関係」3,788人(構成比35.8%)が最も多く、次いで「家政関係」2,883人(同27.3%)、「人文関係」1,235人(同11.7%)の順となっている。

区分	学 生 数			構成比
	男	女		
計	10,573	1,083	9,490	100.0
人 文	1,235	49	1,186	11.7
社 会	62	-	62	0.6
工 業	587	548	39	5.6
農 業	45	45	-	0.4
保 健	533	59	474	5.0
家 政	2,883	37	2,846	27.3
教 育	3,788	214	3,574	35.8
芸 術	628	82	546	5.9
その他	812	49	763	7.7

(5) 本科学生の入学状況 [表26、統計表53・54]

- ア 短期大学の本科への入学志願者数は11,455人で、前年度より1,917人(14.3%)減少している。
男女別では、男792人(構成比6.9%)で前年度より232人減少し、女10,663人(同93.1%)で1,685人減少した。
- イ 入学者数は4,950人で、前年度より418人(7.8%)減少している。
男女別では、男458人(構成比9.3%)で前年度より123人減少し、女4,492人(同90.7%)で295人減少している。

卒業年次別にみると、平成 18 年 3 月（新規）高等学校卒業者が 4,678 人（構成比 94.5%）と最も多く、平成 16 年 3 月高等学校卒業生 133 人（同 2.7%）、平成 17 年 3 月以前高等学校卒業生 102 人（同 2.1%）、その他 37 人（同 0.7%）の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より 0.2 ポイント上昇している。

入学者のうち 3,095 人（男 211 人、女 2,884 人）が県内高等学校出身者であり、その占める比率は 62.5%で前年度より 0.7 ポイント低下している。

表26 短期大学(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	11,455	10,752	4,950	4,678 (94.5)	3,095 (62.5)
男	792	621	458	353 (77.1)	211 (46.1)
女	10,663	10,131	4,492	4,325 (96.3)	2,884 (64.2)

()は構成比

11 高等専門学校

(1) 学 校 数 [表 27、統計表 55]

ア 学校数は 2 校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立 1 校、公立 1 校である。

(2) 学 生 数 [表 27、統計表 55]

ア 学生数は 2,152 人（本科 2,022 人、専攻科 129 人、その他 1 人）で、前年度より 23 人増加している。

イ 男女別では、男 1,847 人（構成比 85.8%）で前年度より 25 人増加し、女 305 人（同 14.2%）で 2 人減少している。

(3) 教 員 数（本務者） [表 27、統計表 55]

教員数（本務者）は 167 人で、前年度より 2 人増加している。

表27 高等専門学校の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)	
		男	女	本科	専攻科	その他		
平成14年度	2	2,124	1,758	366	2,004	120	-	165
15	2	2,124	1,776	348	2,006	118	-	165
16	2	2,130	1,787	343	2,010	116	4	165
17	2	2,129	1,822	307	2,007	120	2	165
18	2	2,152	1,847	305	2,022	129	1	167

(4) 本科学生の入学状況 [統計表 57]

ア 入学志願者数は 764 人で、前年度より 66 人（8.0%）減少している。

イ 入学者は 406 人で、前年度より 1 人（0.2%）減少している。うち平成 18 年 3 月（新規）中学校卒業生は 405 人（構成比 99.8%）で、その占める比率は前年度より 0.3 ポイント上昇している。

卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業生数 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 本年3月の卒業生数は53,975人で、前年より1,015人(1.8%)減少している。
- イ 男女別では、男27,358人(構成比50.7%)、女26,617人(同49.3%)である。
- ウ 設置者別では、国立344人(構成比0.6%)、公立49,444人(同91.6%)、私立4,187人(同7.8%)である。

(2) 卒業生の進路状況 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 高等学校等進学者は52,623人で、前年より935人(1.7%)減少している。
男女別では、男26,620人(構成比50.6%)、女26,003人(同49.4%)である。
高等学校等進学率は97.5%で、前年より0.1ポイント上昇している。これを男女別にみると、男97.3%、女97.7%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
進路別にみると、高等学校本科が51,039人(構成比97.0%)と最も多く、次いで高等学校通信制733人(同1.4%)、高等専門学校457人(同0.9%)の順(上位3位)となっている。
高等学校等進学者のうち、他県への進学者は2,707人(男1,691人、女1,016人)で、前年より69人(2.5%)減少している。
- イ 専修学校(高等課程)進学者は149人(男77人、女72人)で、前年より23人(13.4%)減少し、専修学校(高等課程)進学率は0.3%で、前年と同率である。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は82人(男36人、女46人)で、前年より7人(9.3%)増加している。

表28 中学校の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	高等学校等進学率		就職率
		A	B	C	D					E	全国値	
平成14年3月	60,395	58,616	223	73	49	592	817	25	155	97.1	97.0	1.2
15	58,346	56,755	226	78	48	452	783	4	121	97.3	97.3	1.0
16	57,521	55,946	156	92	47	466	809	5	111	97.3	97.5	1.0
17	54,990	53,558	172	75	48	443	688	6	98	97.4	97.6	1.0
18	53,975	52,623	149	82	42	436	635	8	89	97.5	97.7	1.0

- (注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることをいう。
 4 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

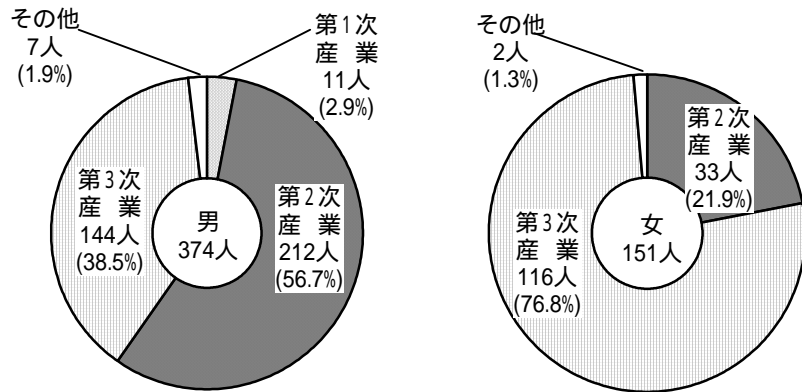
(3) 就職者数 [表28、図14・15、統計表58・60・70]

ア 就職者総数は525人(就職者436人、「高等学校等進学者」「専修学校(高等課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者89人)で、前年より16人(2.9%)減少している。

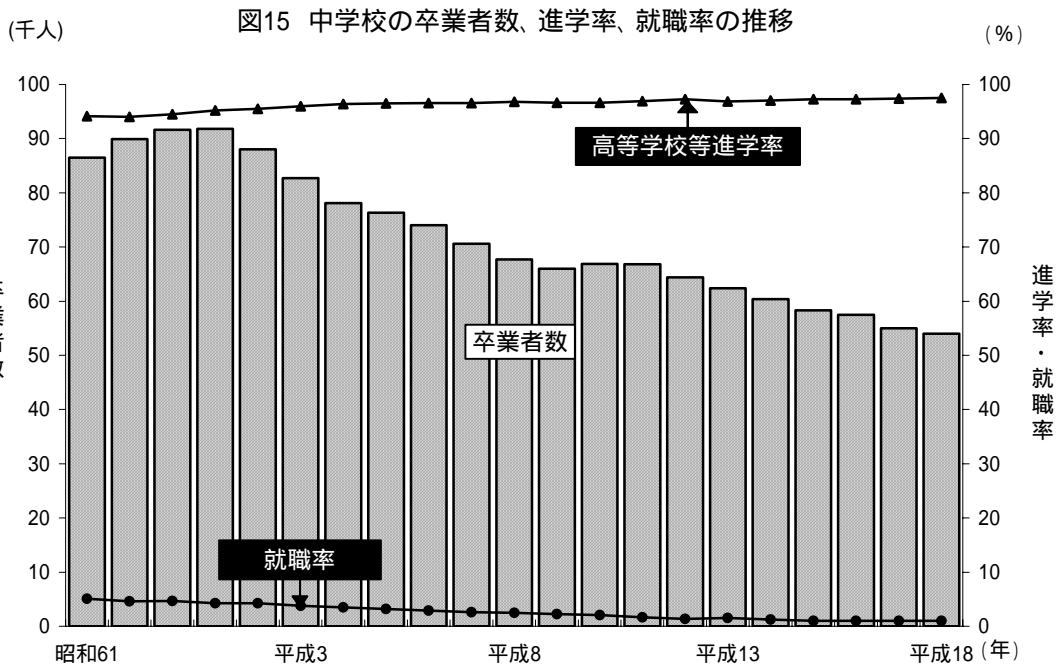
イ 就職率は1.0%(男1.4%、女0.6%)で、前年と同率で、過去最低である。

就職者を産業別にみると、第3次産業が260人(構成比49.5%)で最も多く、次いで第2次産業が245人(同46.7%)、第1次産業11人(同2.1%)、その他9人(同1.7%)となっている。

図14 中学校卒業者の産業別就職者数



(注)第1次産業とは、農業、林業、漁業をいう。
 第2次産業とは、鉱業、建設業、製造業をいう。
 第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業、公務、及び分類不能の産業をいう。



2 高等学校

(1) 卒業生数 [表29、図17、統計表62・71]

- ア 本年3月の卒業生数は49,735人で、前年より1,854人(3.6%)減少している。
- イ 男女別では、男24,559人(構成比49.4%)、女25,176人(同50.6%)である。
- ウ 設置者別では、公立37,388人(構成比75.2%)、私立12,347人(同24.8%)である。

(2) 卒業生の進路状況 [表29・30、図17、統計表62・63・71]

- ア 大学等進学者は27,845人で、前年より480人(1.7%)減少している。
男女別では、男13,113人(構成比47.1%)、女14,732人(同52.9%)である。
大学等進学率は56.0%で、前年より1.1ポイント上昇している。これを男女別にみると、男53.4%、女58.5%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
大学等進学者を進路別にみると、大学(学部)への進学者が23,766人(構成比85.4%)と最も多く、次いで短期大学(本科)への進学者が3,966人(同14.2%)、高等学校(専攻科)80人(同0.3%)の順(上位3位)となっている。
- イ 専修学校(専門課程)進学者は7,635人(男3,004人、女4,631人)で前年より988人(11.5%)減少し、専修学校(専門課程)進学率は15.4%で前年より1.3ポイント低下している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は3,770人(男2,642人、女1,128人)で、前年より50人(1.3%)減少している。
- エ 大学等への志願状況は、大学学部への志願率が56.9%で前年より1.8ポイント上昇し、短期大学本科への志願率が8.2%で前年より0.6ポイント低下している。

表29 高等学校の進路別卒業生数

区分	計	(人、%)									大学等進学率		就職率
		A	B	C	D	E	F	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	全国値		
平成14年3月	56,352	29,737	8,485	5,805	197	7,487	...	4,628	13	53	52.8	44.8	13.4
15	54,668	28,703	8,837	5,374	163	7,114	...	4,470	7	41	52.5	44.6	13.1
16	52,951	27,993	8,952	4,642	185	6,913	1,647	2,616	3	32	52.9	45.3	13.1
17	51,589	28,325	8,623	3,820	161	7,190	1,280	2,181	9	26	54.9	47.3	14.0
18	49,735	27,845	7,635	3,770	164	7,182	1,168	1,961	10	23	56.0	49.3	14.5

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。
 3 「一時的な仕事に就いた者」は、従来「上記以外の者」に包含されていたが、卒業後の状況として、進学も就職もしていない者が近年増加していることから、実態を把握するため、平成16年度より調査項目となった。
 4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Fの各項目に該当しない者で進路が未定である者である。
 5 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

表30 高等学校卒業生の大学等入学志願者数

区分	計	(人、%)					
		計		大学(学部)		短期大学(本科)	
		入学志願者	志願率	入学志願者	志願率	入学志願者	志願率
A	B	B/A × 100	C	C/A × 100	D	D/A × 100	
平成14年3月	56,352	36,884	65.5	30,968	55.0	5,916	10.5
15	54,668	35,086	64.2	29,633	54.2	5,453	10.0
16	52,951	33,394	63.1	28,387	53.6	5,007	9.5
17	51,589	32,933	63.8	28,411	55.1	4,522	8.8
18	49,735	32,407	65.2	28,323	56.9	4,084	8.2

(3) 就職者数 [表29、図16・17、統計表62・65・66・67・71]

ア 就職者総数は7,205人(就職者7,182人、「大学等進学者」「専修学校(専門課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者23人)で、前年より11人(0.2%)減少している。

イ 就職率は14.5%(男17.6%、女11.5%)で、前年より0.5ポイント上昇している。

ウ 就職者のうち自家・自営業については232人(構成比3.2%)、職業安定所又は学校を通じて就職した者は5,968人(同82.8%)である。

エ 就職者を職業別にみると、「生産工程・労務作業者」が3,801人(構成比52.8%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,087人(同15.1%)、「販売従事者」854人(同11.9%)の順となっている。

オ 産業別では、「製造業」が3,376人(構成比46.9%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」933人(同12.9%)、「サービス業」551人(同7.6%)の順となっている。

カ 県外へ就職した者は1,140人(男738人、女402人)で、全体の15.8%である。

図16 高等学校卒業者の産業別就職者数

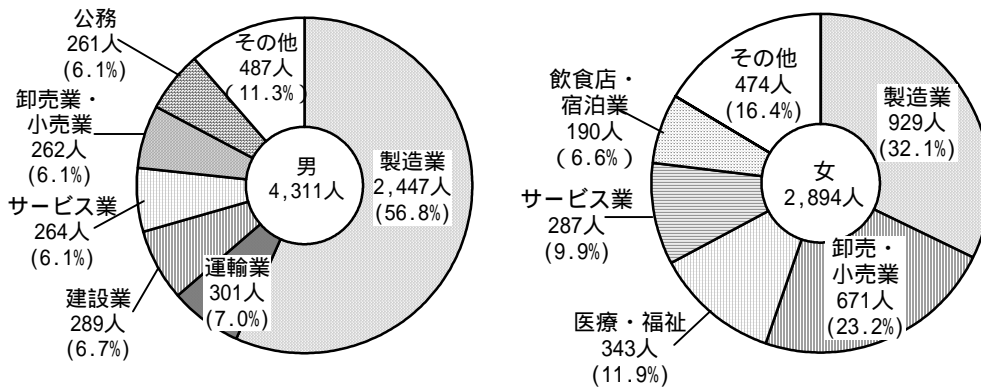
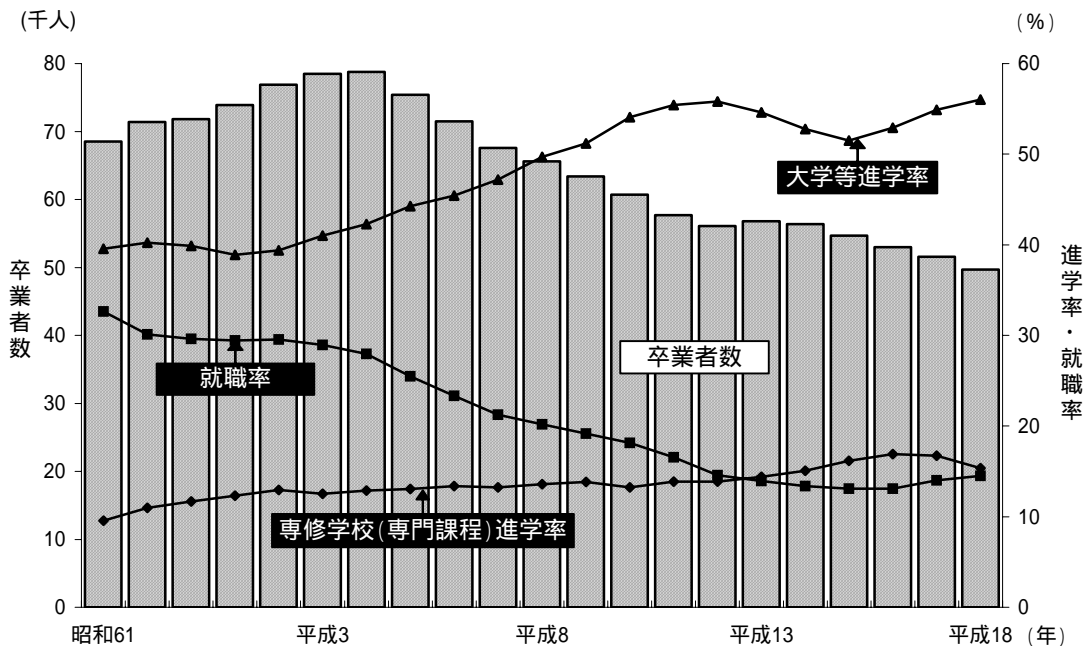


図17 高等学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



3 盲・聾・養護学校

(1) 中学部 [表31、統計表61]

ア 本年3月の卒業生数は250人で、前年より9人(3.5%)減少している。

イ 男女別では、男167人(構成比66.8%)、女83人(同33.2%)である。

表31 盲・聾・養護学校(中学部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	高等学校等進学率	就職率
		A	B	C	D	E	F					
平成14年3月	242	230	-	-	-	-	12	-	-	9	95.0	-
15	272	266	-	-	-	-	6	-	-	4	97.8	-
16	241	232	-	-	-	-	9	-	-	6	96.3	-
17	259	253	-	-	-	-	6	-	-	6	97.7	-
18	250	250	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

- (注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校に入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。
 4 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

(2) 高等部 [表32、統計表68・69]

ア 本年3月の卒業生数は628人で、前年より59人(10.4%)増加している。

イ 男女別では、男382人(構成比60.8%)、女246人(同39.2%)である。

ウ 大学等進学者は10人(男7人、女3人)で、うち盲・聾・養護学校高等部専攻科へ6人進学している。

エ 社会福祉施設等入所、通所者は369人(男219人、女150人)で、その内訳は、授産施設に232人(構成比62.9%)、更正施設88人(同23.8%)、医療機関33人(同8.9%)、児童福祉施設16人(同4.3%)である。

表32 盲・聾・養護学校(高等部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	大学等進学者	専修学校(専門課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	大学等進学率	就職率
		A	B	C	D	E						
平成14年3月	502	10	-	-	26	83	383	-	-	272	2.0	16.5
15	515	11	3	-	16	90	395	-	-	298	2.1	17.5
16	556	10	5	-	17	99	423	2	-	302	1.8	17.8
17	569	7	6	4	16	97	438	1	-	274	1.2	17.0
18	628	10	1	1	32	98	486	-	-	369	1.6	15.6

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。
 4 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

不就学学齢児童生徒調査 [表 33、統計表 76・77]

ア 不就学学齢児童生徒の総数は 133 人(就学免除者 31 人、就学猶予者 102 人)で、前年度より 7 人(5.6%)増加している。

イ 1 年以上の居所不明者は 8 人で、前年度より 4 人増加している。

ウ 平成 17 年度間の学齢児童生徒死亡者数は 28 人で、前年より 12 人減少している。

表33 不就学学齢児童生徒数 (人)

区分	計	就学免除者				就学猶予者				居所不明	死亡		
		計	男		女		計	男				女	
			6~11歳	12~14歳	6~11歳	12~14歳		6~11歳	12~14歳			6~11歳	12~14歳
平成14年度	91	18	8	4	6	0	73	28	10	22	13	6	47
15	109	22	8	3	9	2	87	44	7	26	10	6	37
16	118	29	8	6	10	5	89	45	11	25	8	3	37
17	126	29	12	5	9	3	97	45	9	31	12	4	40
18	133	31	11	2	14	4	102	47	14	31	10	8	28

学校施設調査

1 学校建物面積 [統計表 78]

ア 私立の建物面積は 1,617,200 m²(設置者所有 1,602,382 m²、借用 14,818 m²)で、前年度より 3,500 m²(0.2%)増加している。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 1,272,717 m²(構成比 79.4%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 291,353 m²(同 18.2%)、木造 38,312 m²(同 2.4%)である。

イ 公立(専修学校)の建物面積は 37,391 m²(設置者所有 35,885 m²、借用 1,506 m²)で、前年度と同数である。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 29,972 m²(構成比 83.5%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 4,401 m²(同 12.3%)、木造 1,512 m²(同 4.2%)である。

2 学校土地面積 [統計表 78]

ア 私立の土地面積は 5,320,228 m²(設置者所有 4,935,670 m²、借用 384,558 m²)で、前年度より 34,473 m²(0.7%)増加している。

イ 公立(専修学校)の土地面積は 93,368 m²(設置者所有 85,411 m²、借用 7,957 m²)で、前年度と同数である。